

TOTO

シングル混合水栓

TKS05310型・TKS05311型・TKS05312型
TKS05313型・TKS05314型・TKS05315型
TKS05316型・TKS05317型・TKS05318型
TKS05319型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁止

給湯温度は85℃より高温で使用しない

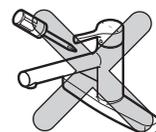
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない

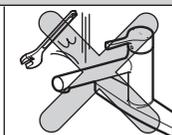
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



注意

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



浄水タイプ

給湯温度は60℃より高温で使用しない

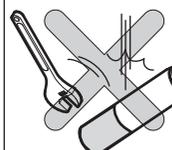
60℃より高温でご使用になると、浄水カートリッジの破損により浄水性能を維持できなくなるおそれがあります。



浄水タイプ

浄水カートリッジを落としたり、浄水カートリッジに強い力や衝撃を与えない

浄水カートリッジが破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなります。



吐水口に汚れた手で触れない

吐水口部に一般細菌が増えやすくなり、体調を損なうおそれがあります。



禁止



必ず実行

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、**11. 凍結予防の仕方**を参照し、凍結予防を確実にを行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



1-2.

⚠ 注 意

水道水および飲用可能な井戸水を使用する

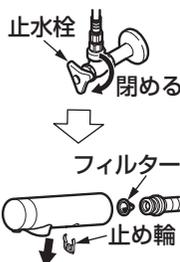
故障や水漏れの原因となります。
また、体調を損なうおそれがあります。



浄水タイプ・ハンドシャワータイプ

フィルターの掃除をする際は、止水栓または元栓を確実に閉めてから行う
また、フィルター取付脚部が熱くないことを確認する

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



取付脚部や配管に腐食・ひび割れ・水漏れなどがないことを十分に確認のうえ、取り付ける

腐食などがあると、やけどをしたり、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



ねじで手を切るおそれがあるので、取り扱いには十分に注意する



必ず実行

2. 仕様

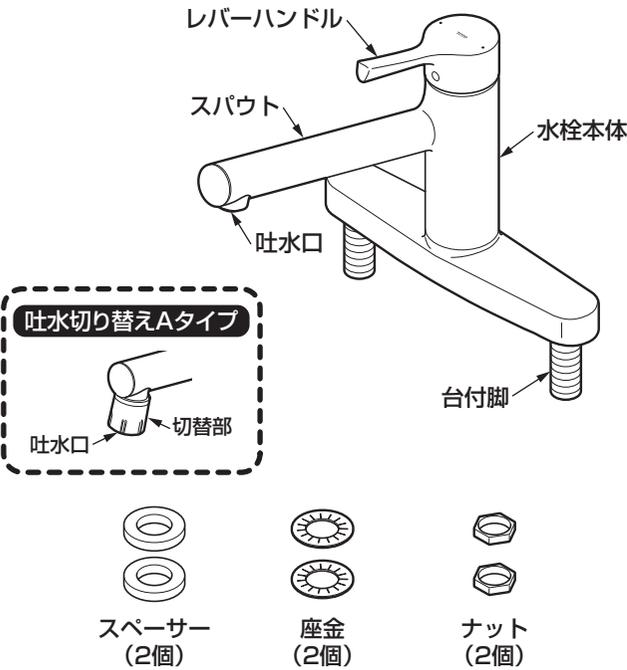
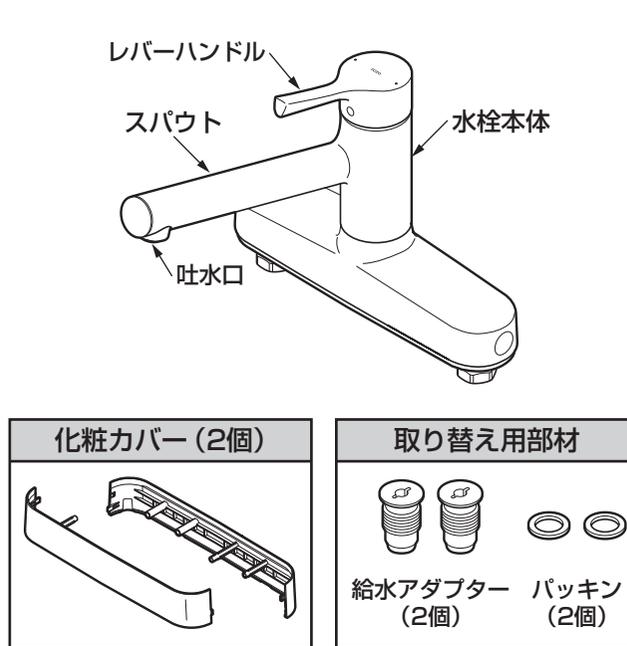
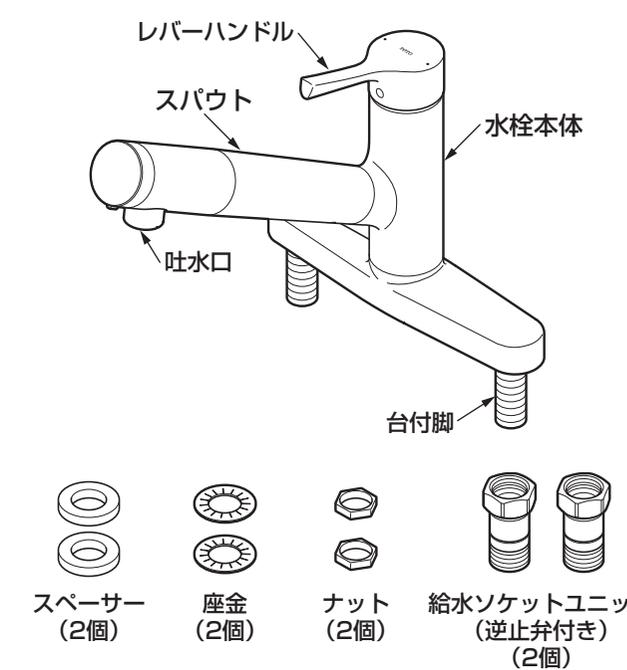
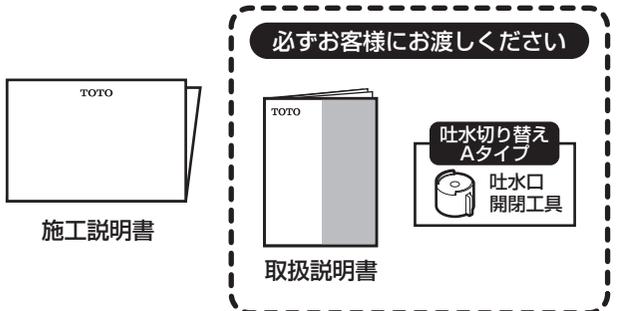
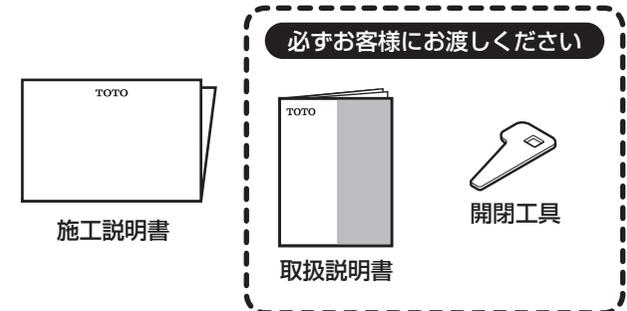
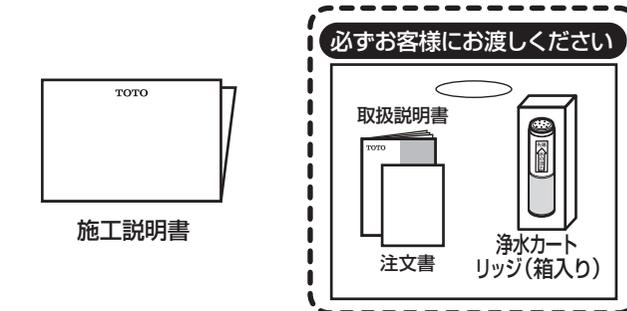
		2穴ノーマルタイプ 2穴吐水切り替えAタイプ 2穴リフレッシュタイプ 壁付ノーマルタイプ 壁付吐水切り替えAタイプ 壁付ハンドシャワータイプ	2穴浄水タイプ 壁付浄水ハンドシャワータイプ
給水・給湯 圧力	最低必要水圧 (流動時)	0.05MPa	0.07MPa
	最高水圧 (静止時)	0.75MPa	
使用最高温度	85℃以下	60℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水		
使用環境温度	-20℃～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)	1～40℃	
用 途	一般住宅台所用		

3. 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 台付きタイプの場合、水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 浄水カートリッジ保護のため、給湯温度は60℃以下に設定してください。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機的能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。

4-1. 部品の確認 (台付き2穴タイプ)

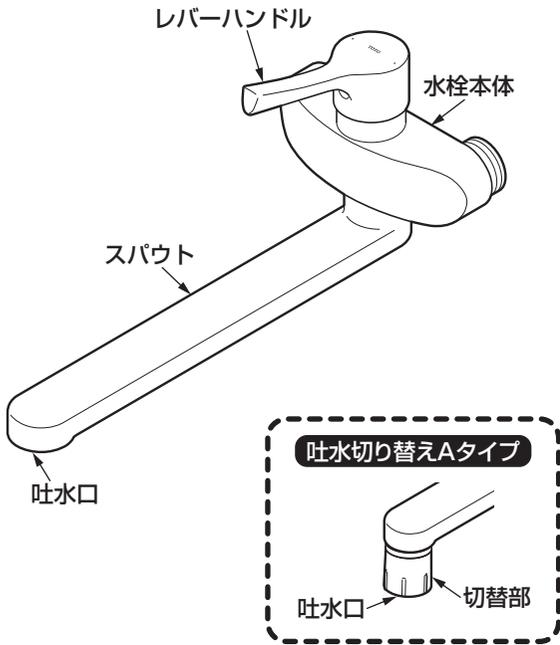
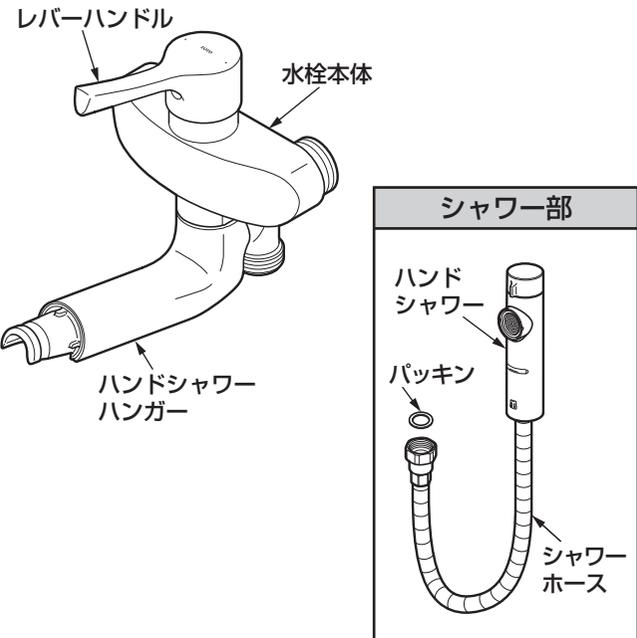
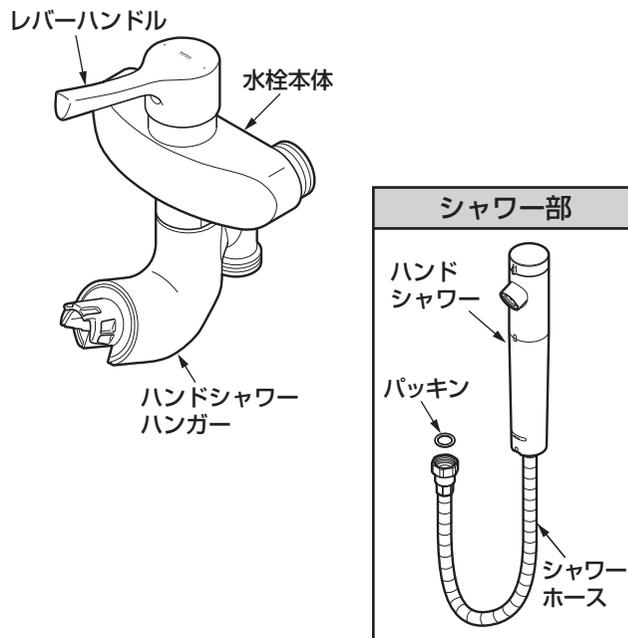
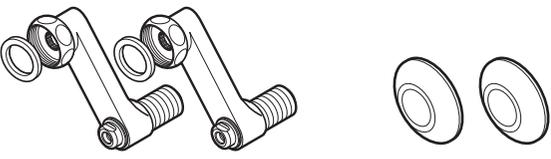
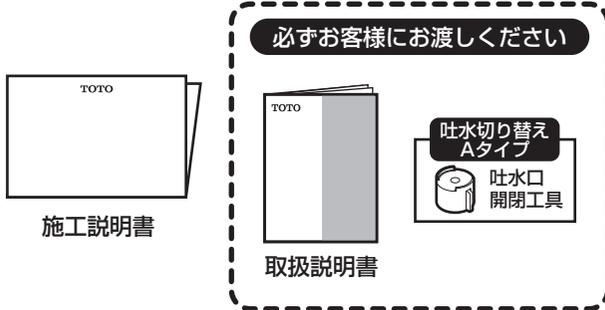
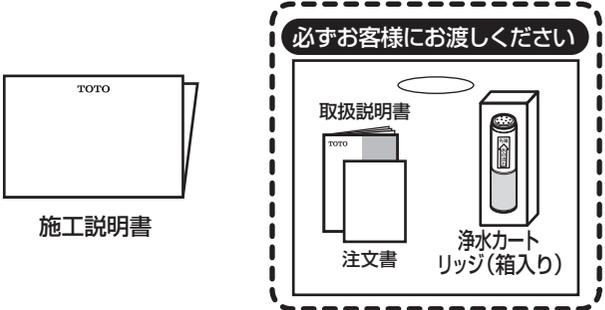
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部		
ノーマルタイプ	リフレッシュタイプ	浄水タイプ
		
その他		
		

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

4-2. 部品の確認 (壁付きタイプ)

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部		
ノーマルタイプ	ハンドシャワータイプ	浄水ハンドシャワータイプ
		
取付脚部	その他	
 <p>取付脚 パッキン付き (2個)</p> <p>フランジ (2個)</p>	 <p>施工説明書</p> <p>取扱説明書</p>	 <p>施工説明書</p> <p>取扱説明書 注文書</p> <p>浄水カートリッジ(箱入り)</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

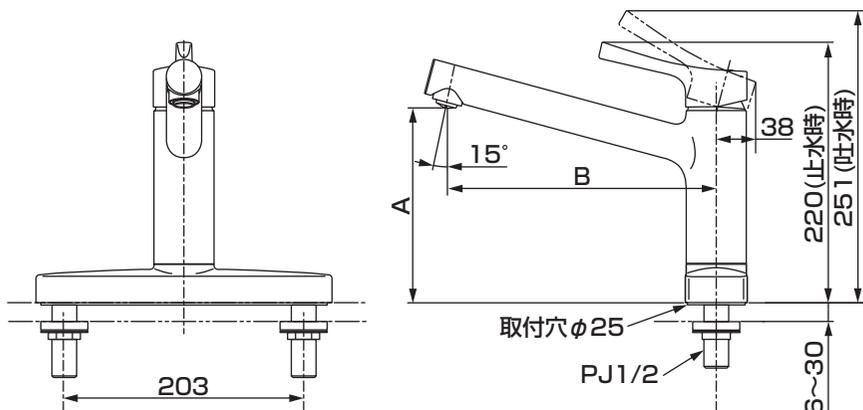
5-1. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

台付き2穴タイプ

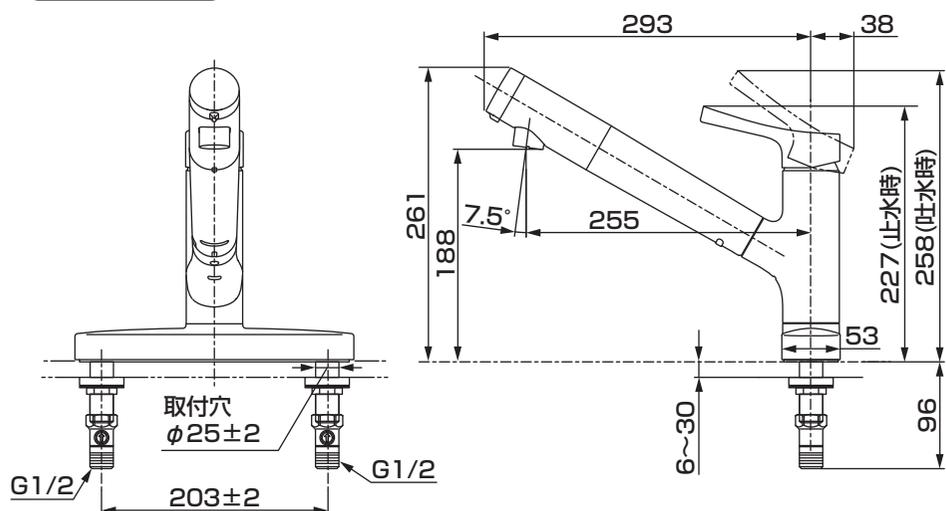
タイプ	A	B
ノーマルタイプ	164	230
吐水切り替えAタイプ	134	237

(単位：mm)



浄水タイプ

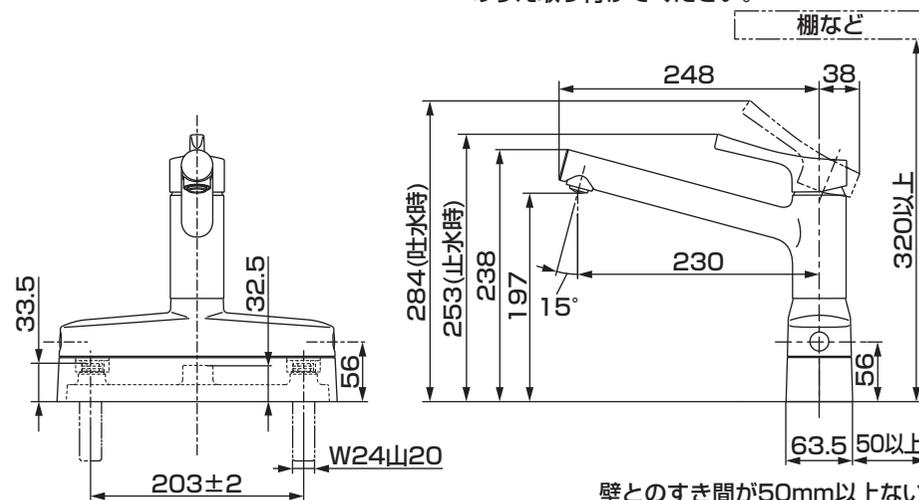
(単位：mm)



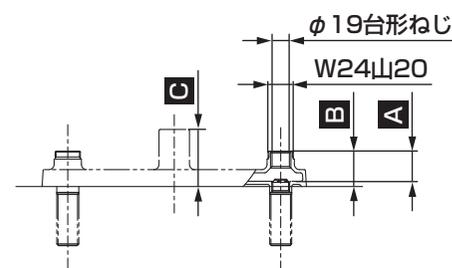
リフレッシュタイプ

(単位：mm)

水栓上部に棚などがある場合、カウンター面から棚などまで320mm以上あることを確認のうえ取り付けてください。



壁とのすき間が50mm以上ないときは、本体取り付け前にカバーを差し込んでください。



取付可能な水栓の主要寸法(mm)

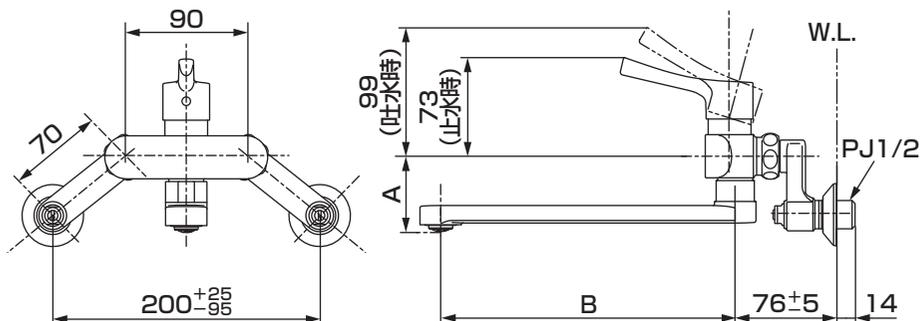
	A	B	C
TOTO	26.5	33.5	54以下
他社	28	37以下	

5-2.

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

壁付きタイプ

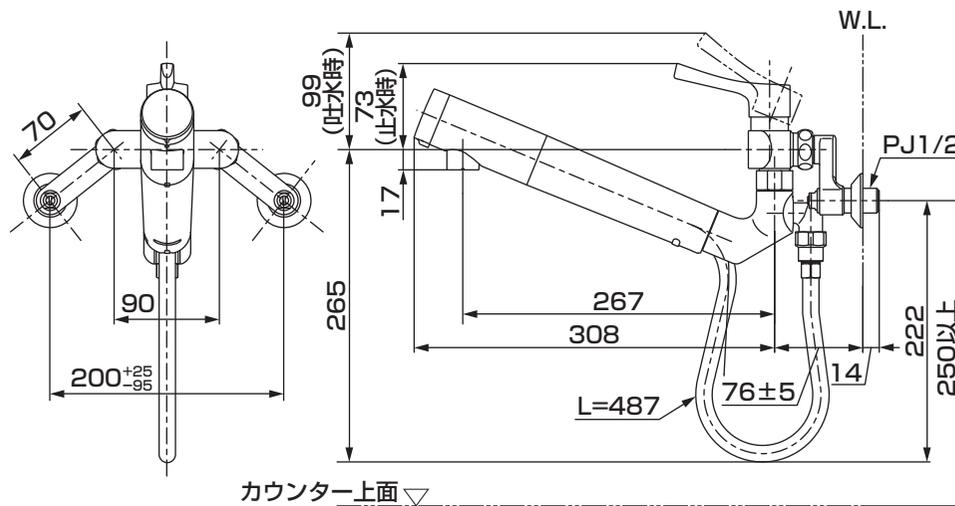
(単位：mm)



タイプ	A	B
ノーマルタイプ (L=170mm)	56	170
ノーマルタイプ (L=220mm)	56	220
吐水切り替えAタイプ	84	220

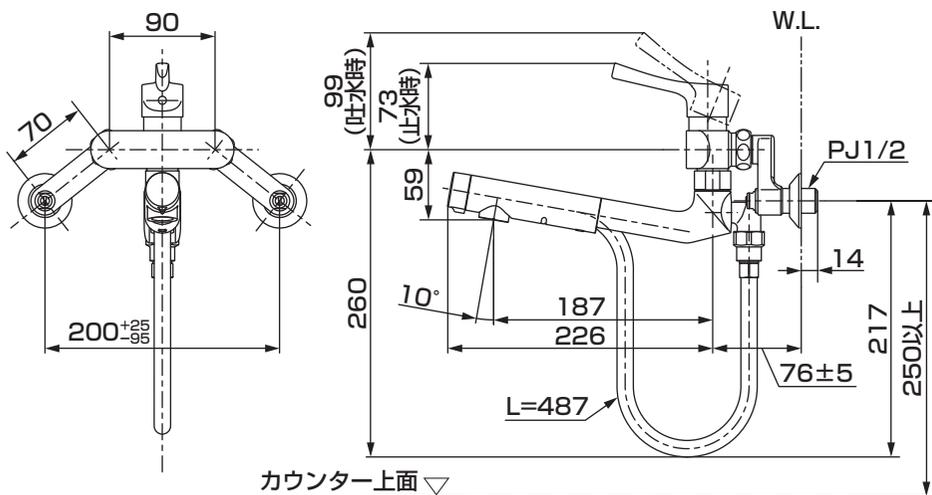
浄水ハンドシャワータイプ

(単位：mm)



ハンドシャワータイプ

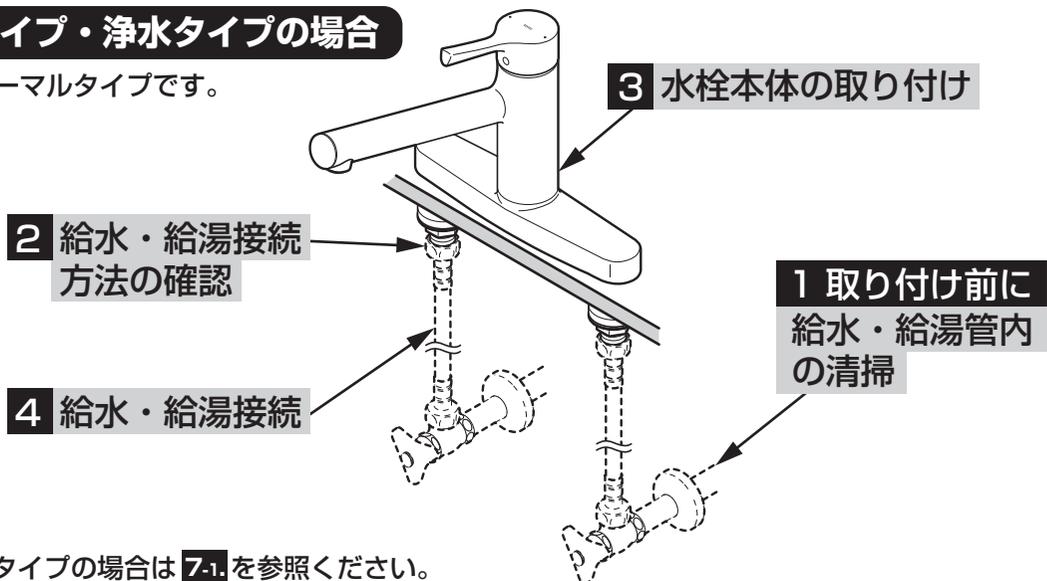
(単位：mm)



6. 施工手順(台付き2穴タイプ)

ノーマルタイプ・浄水タイプの場合

※イラストはノーマルタイプです。



※リフレッシュタイプの場合は 7-1 を参照ください。

1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

重要
止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。

- ① 吐水量が少ない
- ② 温度調節がうまくできない

給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



2 給水・給湯接続方法の確認

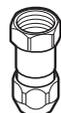
施工方法をご確認ください。

パイプ接続の場合

TH5G0020Rに同梱されている施工説明書に従ってください。

注意

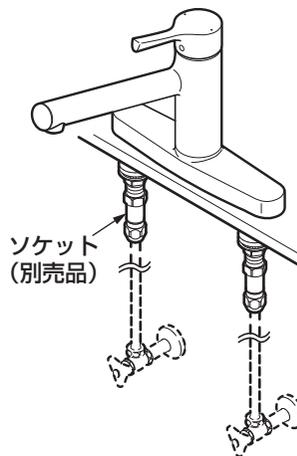
接続にはソケット(別売品: TH5G0020R)が必要となります。



ソケット
(別売品: TH5G0020R)

ホース接続の場合

4 を参照してください。



3 水栓本体の取り付け

- ① 取付穴周囲の汚れを取る。
- ② 本体が正面を向くように固定する。

注意

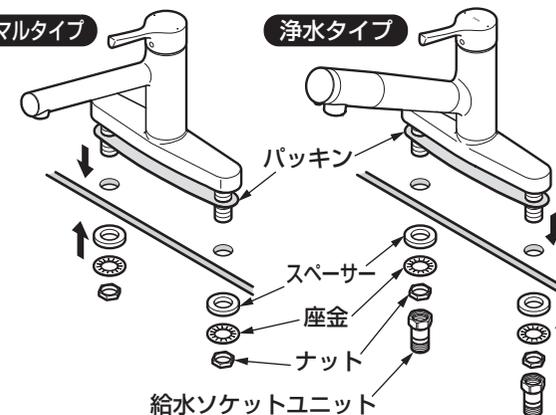
固定には締付専用工具(別売品: TZY15N)を利用して確実に締め付けてください。

締付専用工具
(別売品:
TZY15N)



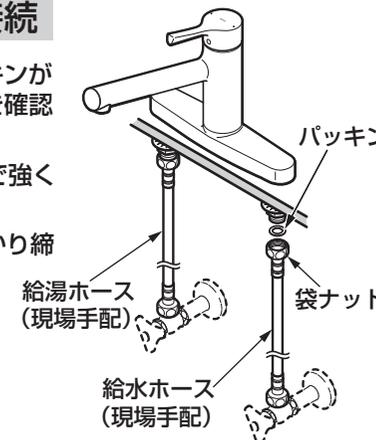
ノーマルタイプ

浄水タイプ



4 給水・給湯接続

- ① 袋ナット部にパッキンが納まっていることを確認する。
- ② 袋ナットを手締めで強く締め付ける。
- ③ さらに工具でしっかり締め付ける。



7-1. 施工手順 (リフレッシュタイプ)

リフレッシュタイプの場合

今お使いの水栓の確認

取り替え対象品にてご確認ください。

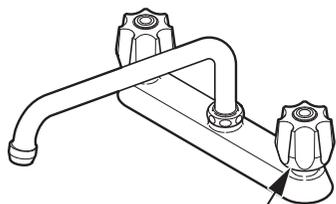
<取り替え対象品>

	機種	別売アダプター
TOTO製	TKJ23、TKJ23D型、TK3A型、TK3S型、TK213型、TK3M	—
	TKJ23R、TKG23A型	THY727-1(2個入り)
	TK3MFN	THY727 (2個入り)
KVK製	KM8G	—
SAN-EI製	K611、K61D	—

※TOTO製のTGK3型からは取り替えられません。

取り替え前

1 元栓を閉める

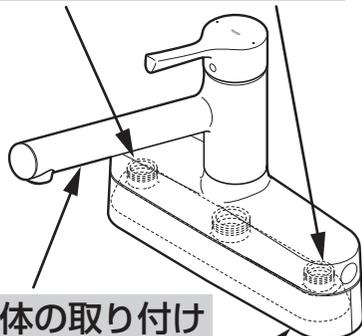


2 各部品の取り外し

取り替え後

3 給水・給湯管内の掃除

4 給水アダプターの取り付け



5 水栓本体の取り付け

6 化粧カバーの取り付け

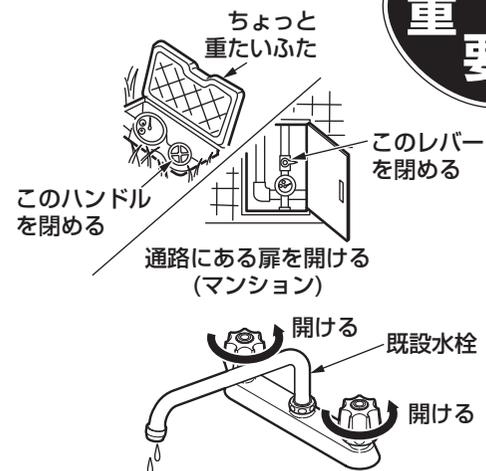
1 元栓を閉める

- ①水道メーターの元栓を閉める。
- ②既設水栓の開閉ハンドルを開け、水が出ないことを確認する。

注意

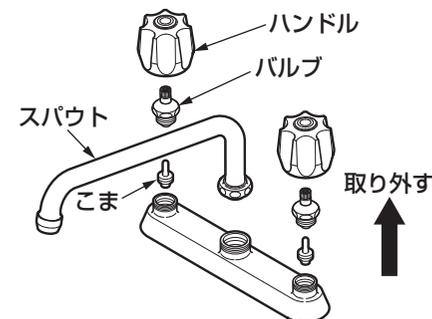
取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどが無いことを十分にお確かめのうえ、取り付けてください。

腐食があると、やけどをしたり、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2 各部品の取り外し

水道水の元栓を閉め、2ハンドル水栓からハンドル・バルブ・こま・スパウトを取り外す。



3 給水・給湯管内の掃除

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注意

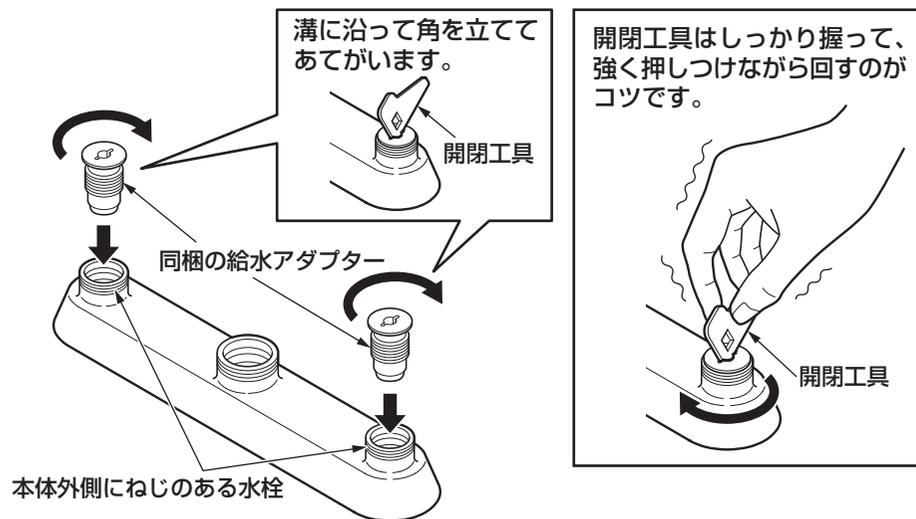
- シート面に傷・ごみかみがないことを確認してください。取付後、水もれの原因となります。
- 本体に残った水もふき取ってください。



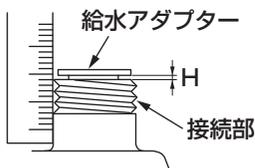
4 給水アダプターの取り付け

付属の開閉工具を使って給水アダプターを締め込む。

〈本体外側にねじがある場合〉



給水アダプターと接続部のすき間がH寸法になるまで締めてください。



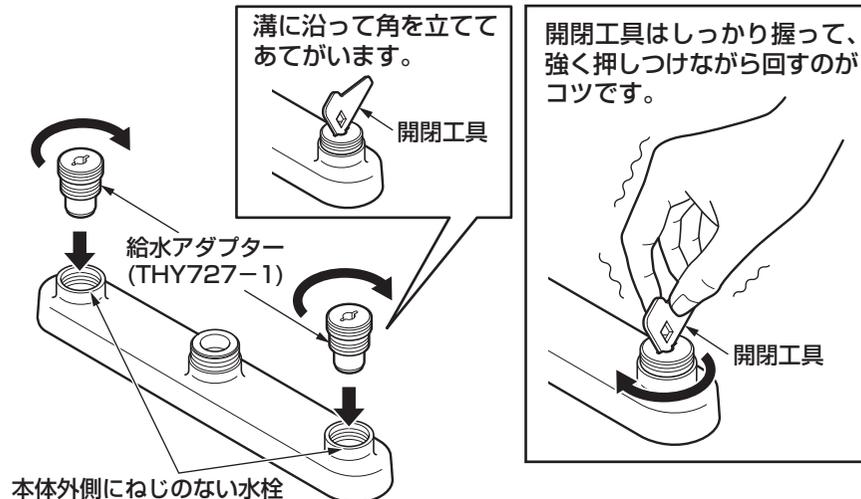
	H (mm)
TOTO	1.0以下
他社	0

※ハンドルがレバー式のもの (TK3M、TK3MF型) には別途THY727が必要です。

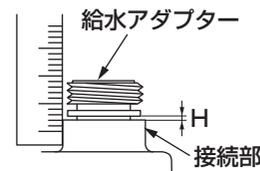


〈本体外側にねじがない場合〉

TKJ23R、TKJ23UR、TKG23A型には別途THY727-1が必要です。



給水アダプターと接続部のすき間がH寸法になるまで締めてください。



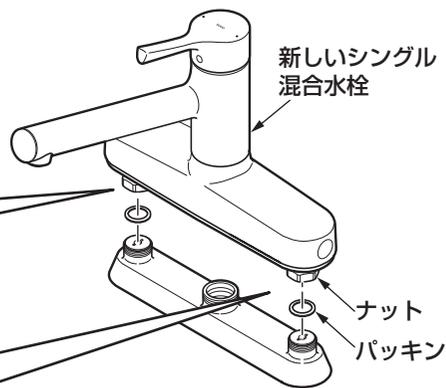
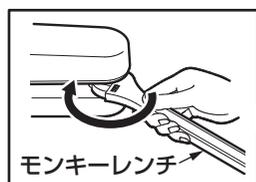
	H (mm)
TOTO	1.0以下

7-3.

5 水栓本体の取り付け

- ① 2ハンドル水栓の上に新しいシングル混合水栓を取り付ける。
- ② パッキンを入れ、ナットを仮締めしてからモンキーレンチでしっかり締め付ける。

給水アダプターの取付高さが左右均一であることを確認してください。高さの違いで本体で傾くおそれがあります。

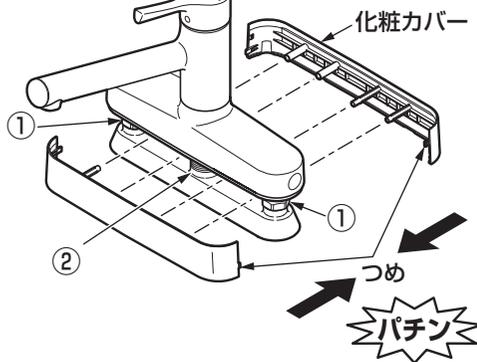


※壁と水栓のすき間が50mm以下では、本体取付後に後ろ側のカバーが入らないため、後ろ側のカバーを差し込んでから本体を固定してください。

6 化粧カバーの取り付け

元栓を開けて、水漏れがないか確認したうえで、化粧カバーをはめる。

水漏れ箇所	次のことを確認してください。
①	<ul style="list-style-type: none"> ・パッキンが入っているか確認してください。 ・ナットを増し締めしてください。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・③に戻って、シート面に傷・ゴミかみがないか確認してください。

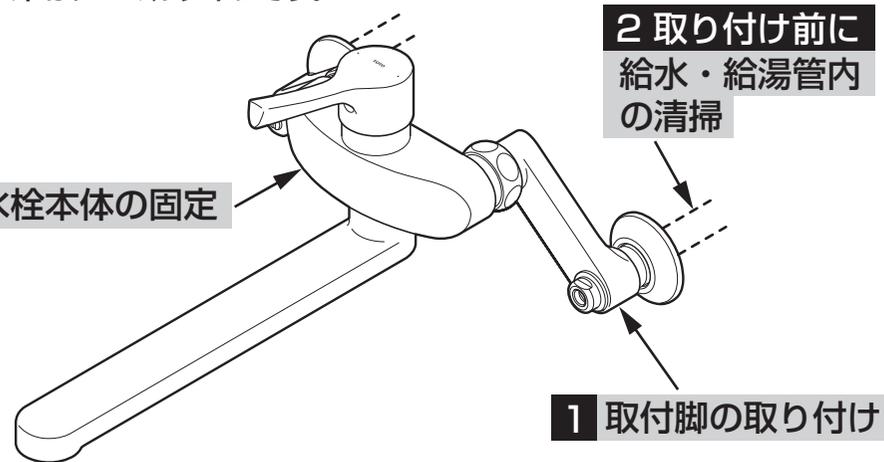


8-1. 施工手順(壁付きタイプ)

ハンドシャワー以外の場合

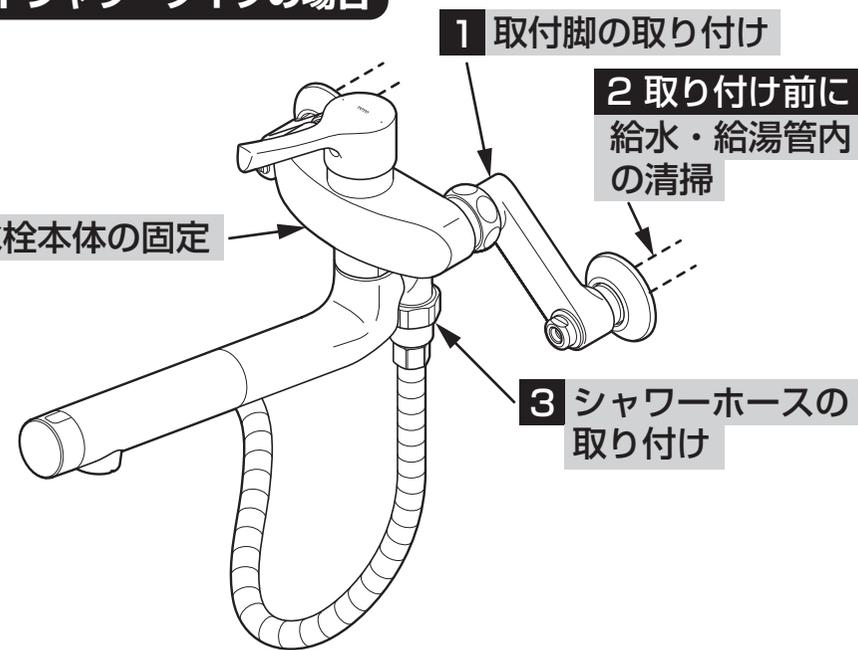
※イラストはノーマルタイプです。

4 水栓本体の固定



ハンドシャワータイプの場合

4 水栓本体の固定

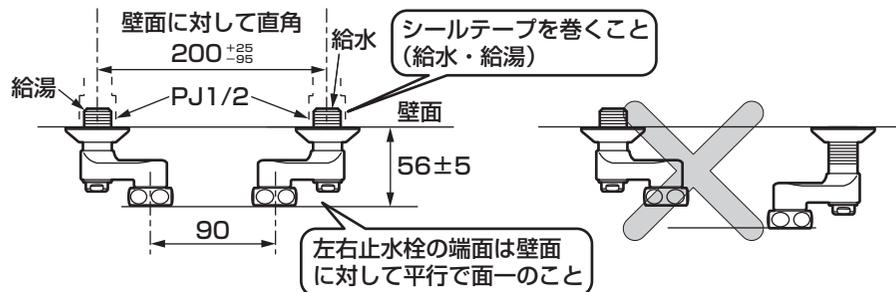


8-2.

1 取付脚の取り付け

(単位：mm)

取付脚を取り付ける。
(給水・給湯側)



2 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

重要

商品を取り付ける前に

必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
- ②温度調節がうまくできない

給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



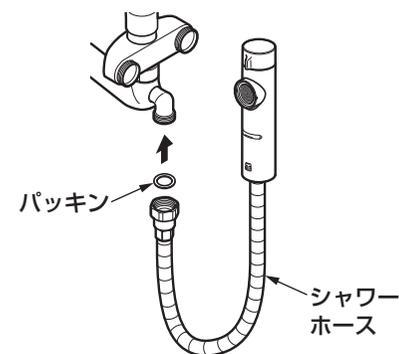
3 シャワーホースの取り付け

ハンドシャワータイプの場合

シャワーホースを図のように取り付ける。

注意

パッキンが入っていることを確認してください。



4 水栓本体の固定

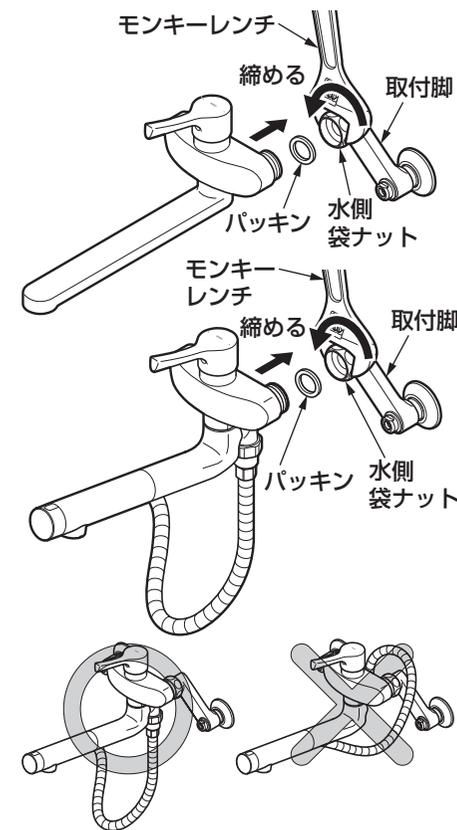
- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

注意

- ゆるみがないようにしっかり締めてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

ハンドシャワータイプの場合

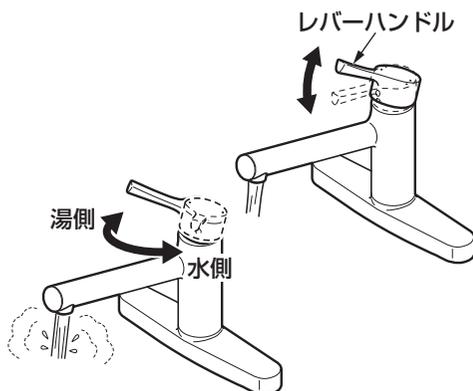
- ③シャワーホースが取付脚の下から出るようにハンドシャワーをハンドシャワーハンガーへはめ込む。
※取付脚の上から取り出すと水抜きができなくなります。



9-1. 施工後の調節

1-1. 水出し確認

- ①取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開ける。
- ②レバーハンドルを上げ下げし、水の出し止めができることを確認する。また、給水・給湯接続部やすき間などから水漏れがないことを確認する。
- ③レバーハンドルを左右に回し、温度調節ができることを確認する。



止水栓による流量調節

- ①レバーハンドルを右側（水側）いっぱいに戻す。
- ②レバーハンドルを上いっぱい上げ、全開とする。
- ③流量が7L/分程度（目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒）になるように水側止水栓で調節する。

給水圧力・給湯圧力が低い場合は、止水栓を全開にしても流量が7L/分にならないことがあります。

- ④レバーハンドルを左側（湯側）いっぱいとし、③と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



台付き2穴タイプの場合



壁付きタイプの場合



1-2. 水出し確認

注意

浄水タイプの場合は、浄水カートリッジを取り付けずに行ってください。

- ①取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開ける。
- ②レバーハンドルを上げ下げし、水の出し止めができることを確認する。また、ホース接続部やすき間などから水漏れがないことを確認する。
- ③レバーハンドルを左右に回し、温度調節ができることを確認する。

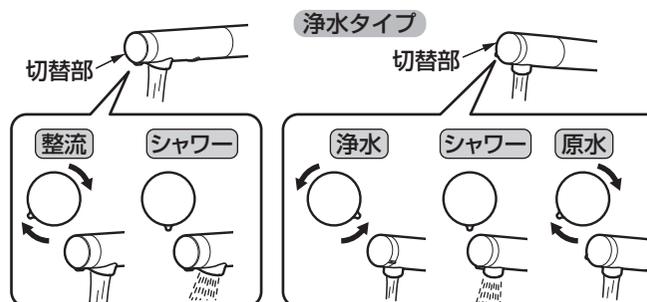
止水栓による流量調節

- ①レバーハンドルを右側（水側）いっぱいに戻す。
- ②レバーハンドルを上いっぱい上げ、全開とする。切替部を回して整流（原水）吐水にしてください。
- ③流量が7L/分程度（目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒）になるように水側止水栓で調節する。給水圧力・給湯圧力が低い場合は、止水栓を全開にしても流量が7L/分にならないことがあります。
- ④レバーハンドルを左側（湯側）いっぱいとし、③と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

吐水切り替えの確認

切替部を操作し、水流が切り替わることを確認する。

吐水切り替えタイプ



台付き2穴タイプの場合



壁付きタイプの場合



2. フィルター・吐水口の掃除

水出し確認後は必ずフィルター・吐水口を掃除してください。

フィルター・吐水口が詰まると流量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

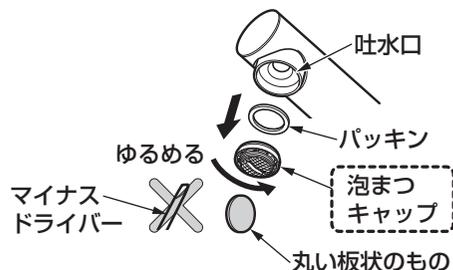
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルター・吐水口を掃除する際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。(詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

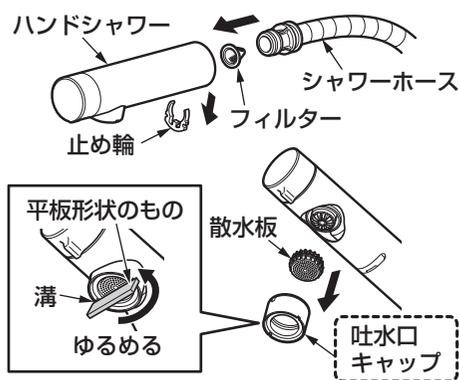
※泡まつキャップを取り外すときは、マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。

掃除が完了したあとは、必ず水(湯)を出して接続部から水漏れがないか確認してください。吐水が乱れていたり、吐水口およびその周辺から漏れているときは、キャップを増し締めしてください。
それでも、水漏れするときは、再度取り付け直してください。

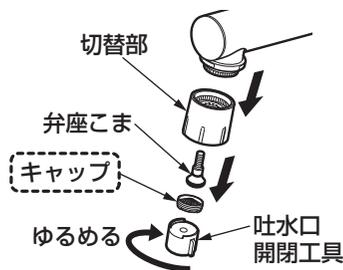
ノーマルタイプ



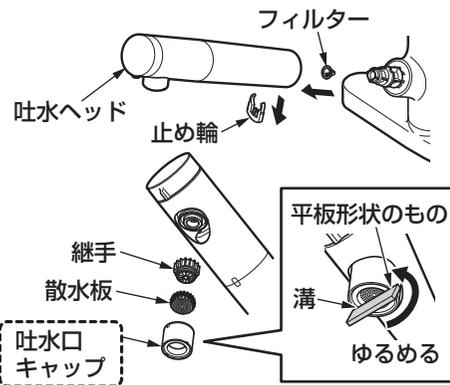
壁付ハンドシャワータイプ



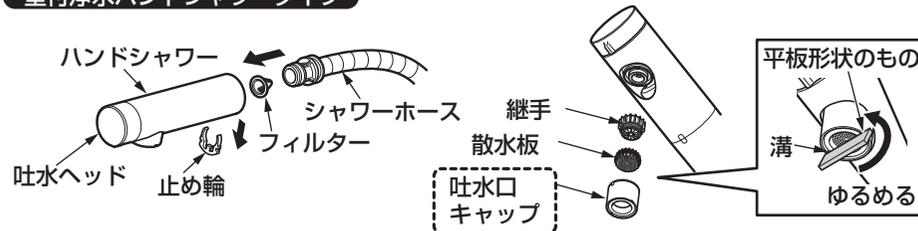
吐水切り替えAタイプ



2穴浄水タイプ



壁付浄水ハンドシャワータイプ



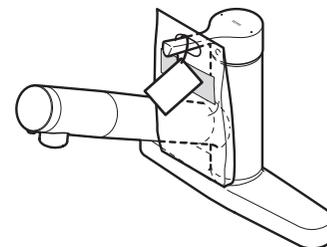
3. 包装袋の吊り下げ(浄水タイプ)

浄水カートリッジが入ったビニール袋を水栓のレバーハンドルに引っかける。

注意

施工時には浄水カートリッジを取り付けしないでください。

実際に水栓を使うお客様に取り付けていただきます。施工時に浄水カートリッジを取り付けて通水確認すると、お客様への引き渡しまで浄水カートリッジに水が滞留しますので、一般細菌の繁殖など、浄水カートリッジの性能を損なうおそれがあります。



10. 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分に説明ください。

現象	説明
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

11. 凍結予防の仕方

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

重要

水栓内の水抜き作業を行う前に下記を実行してください。

- 配管内の水抜きを必ず実行してください。
- 吐水口先端に浄水器を取り付けている場合は外してから水抜き作業を行ってください。

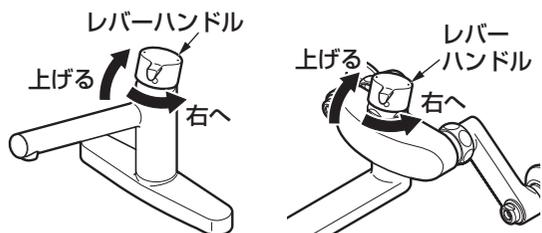
上記を行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。

水抜きをする場合

台付き2穴タイプ

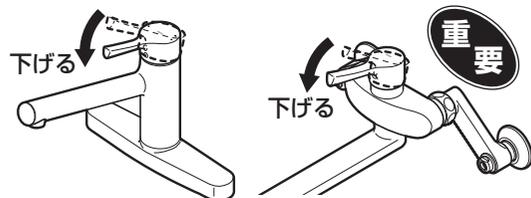
壁付きタイプ



① レバーハンドルを上げ、水側いっぱいに戻す。

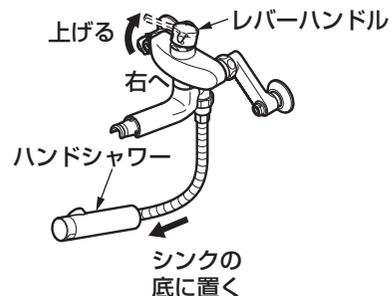


② レバーハンドルを上げたまま、湯側いっぱいに戻し、水栓内の水を抜く。



③ 水抜き完了後は、必ずレバーハンドルを下へいっぱいにする。
(水が出ない状態)

壁付ハンドシャワータイプ

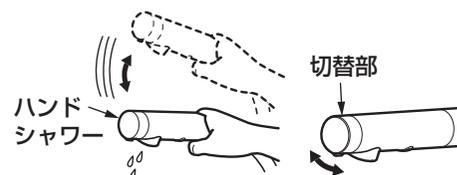


① ハンドシャワーをシンクの底に置く。

② レバーハンドルを上げ、水側いっぱいに戻す。

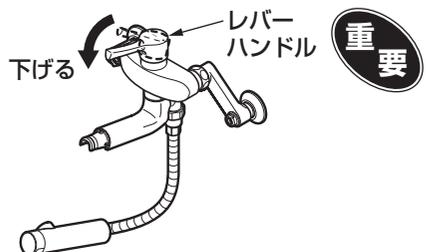


③ レバーハンドルを上げたまま湯側いっぱいに戻し、水栓内の水を抜く。



④ ホース内の水を抜く。
切替部を数回切り替えながらホース内の水を抜く。

ハンドシャワーを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。



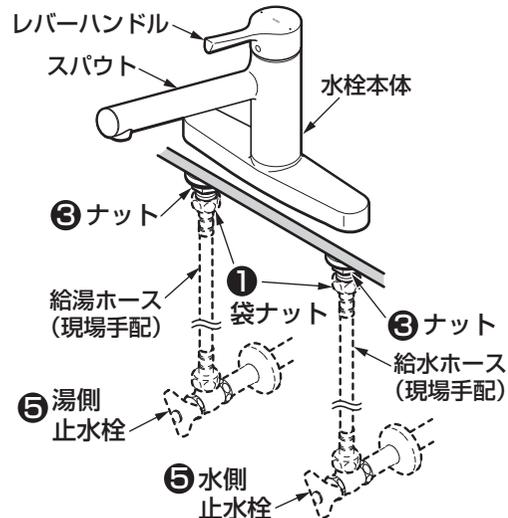
⑤ 水抜き完了後は、必ずレバーハンドルを下げる。
(水が出ない状態)

12-1. 点検項目

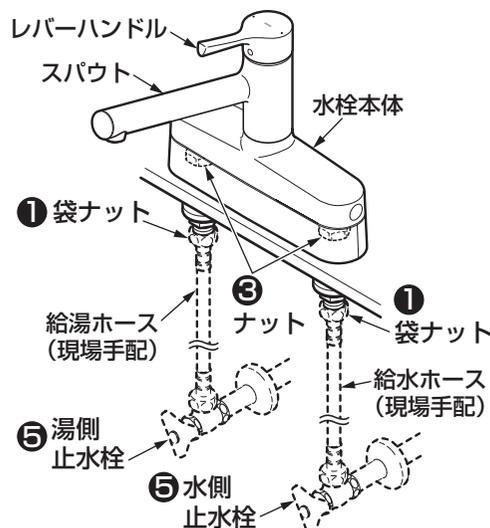
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

台付き2穴ノーマルタイプ・浄水タイプ

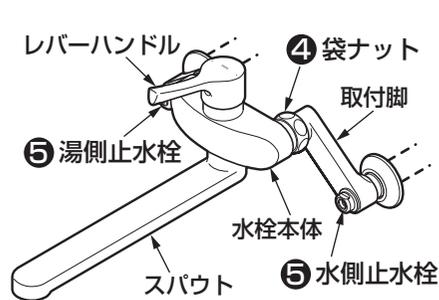
※イラストはノーマルタイプ



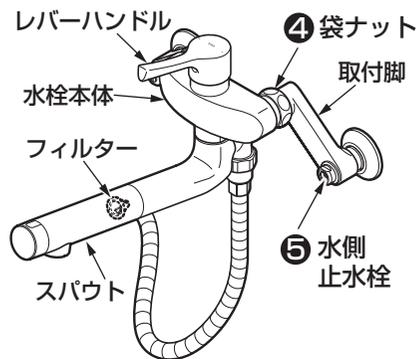
リフレッシュタイプ



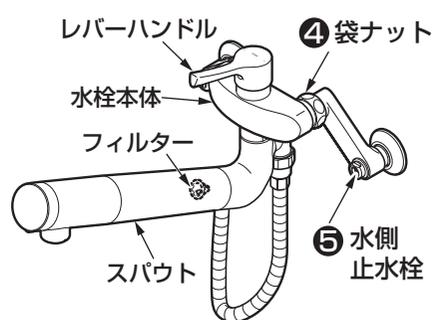
壁付きタイプ



壁付ハンドシャワータイプ

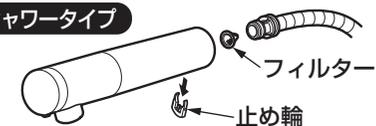


壁付浄水ハンドシャワータイプ

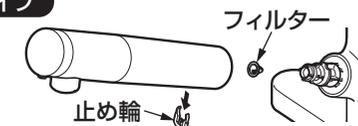


⑥ フィルター

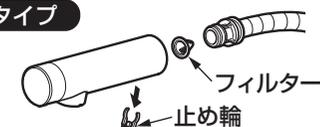
壁付浄水ハンドシャワータイプ



台付き2穴浄水タイプ



壁付ハンドシャワータイプ



② ⑥ 吐水口部

ノーマルタイプ



壁付ハンドシャワータイプ



吐水切り替えAタイプ



浄水タイプ



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

台付き2穴タイプ・浄水タイプ

- ① 給水・給湯接続は袋ナットで台付脚またはソケットに確実に接続されていますか？

↳ **6-4** 給水・給湯接続 参照

リフレッシュタイプ

- ① 水栓本体はしっかり差し込まれていますか？

↳ **7-3-5** 水栓本体の取り付け 参照

壁付きタイプ・壁付ハンドシャワー・壁付浄水ハンドシャワータイプ

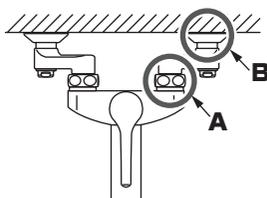
A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認のうえ、再度、袋ナットを締め直してください。

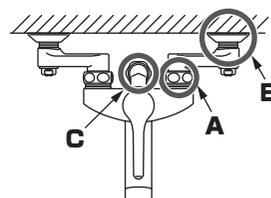
Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

壁付きタイプ

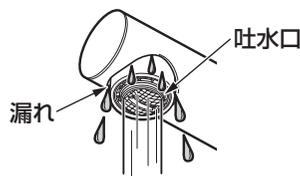


壁付ハンドシャワータイプ



- ② 吐水口およびその周辺から水が漏れていませんか？

↳ **9-2. 2. フィルター・吐水口の掃除** 参照



ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

台付き2穴タイプ

- ③ 水栓本体のナットは確実に締め付けていますか？

↳ **6-3** 水栓本体の取り付け 参照

リフレッシュタイプ

- ③ 水栓本体のナットは確実に締め付けていますか？

↳ **7-3-5** 水栓本体の取り付け 参照

壁付きタイプ・壁付ハンドシャワー・壁付浄水ハンドシャワータイプ

- ④ 袋ナットのゆるみはないですか？

↳ **8-2-4** 水栓本体の固定 参照

流量および吐水温度の確認

流量が多すぎるときや、少ないとき、または温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ⑤ 止水栓の開き具合はどうですか？

↳ **9-1. 1. 水出し確認** 参照

- ⑥ フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ **9-2.**

2. フィルター・吐水口の掃除 参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。